

東 北 大 震 災 と 私

作成者 I.H2

【2011. 3. 11の 私の体験】

【地震後3ヶ月間の私 の動き】

【今私にできること】

【2011. 3. 11の私の体験】

地震当日、わたしは学校で5時間目の授業を受けているところだった。最初の揺れにみんなが気づき、ざわつき始めてから、小さかった揺れもだいぶ大きくなってきた。放送が

かからなくても、みんなは自然と机の下に隠れ、放送を待った。しかし、今までにない大ききの揺れに対し、怖がって泣く人もいればおもしろがって笑う人もいた。地震に対するみんなの反応は様々で、ほとんどの人は恐怖や不安でいっぱいだったと思う。揺れがだいぶおさまった後、体育館に集まってくださいという放送がかかり、みんな体育館に避難した。その後はすぐ放課になり、みんな家に帰った。

家に帰ってからも大きな余震が続き、安心はできなかった。私の家の水道は止まらなかったが、電気は止まり、携帯もつながらなくなった。そのため、真っ暗な部屋にろうそくを灯し、ラジオを聞きながら一晩を過ごした。車にあるテレビは見られたため、ときどき車にいてテレビを見ていた。しかし、そのテレビで見る被害の大きさに言葉を失った。津波の被害や、それによって起こった火事などの二次災害。その光景は、あまりに悲惨で、未来というものに対して不安を抱いた。

On the earthquake day, I was taught in the first five hours. But, I have never experienced before the earthquake day.

I was affected variously by the TSUNAMI. The scene distressed me too.

【地震後3ヶ月間の私の動き】

次の日のお昼ごろには電気が復旧し、もとの生活に戻ることはできた。しかし、余震はまだ続いていた。地震がきてからのスーパーは、ほとんど商品がなく、各地で「買いだめによる商品不足」という問題がおこった。それは、秋田県でも同じで、どこのスーパーに行ってもほとんど商品がなかった。また、被災地の被害は尋常じゃなく、死亡・行方不明者数も大変な数になっていた。3月といえば、まだ寒さの残る季節であり、電気が止まって、暖房器具が使えない被災地はどんなに辛かっただろう。被災地の被害のことを考えれば、私たちの被害なんて小さいことだなと思った。

The next day, electricity was also restored. We are almost back to its original life. But, much more aftershocks continued.

【今私にできること】

被災地にボランティアに行ったり、たくさんのお金を寄付したりは私にはできないけど、節電節約など身近にできることはあると思う。だから、その身近にできることからやっていきたいと思う。

I do not have volunteer to the disaster area yet. But, I will do to save energy etc. I

would like to do from the easy usual action.

節電・節約